

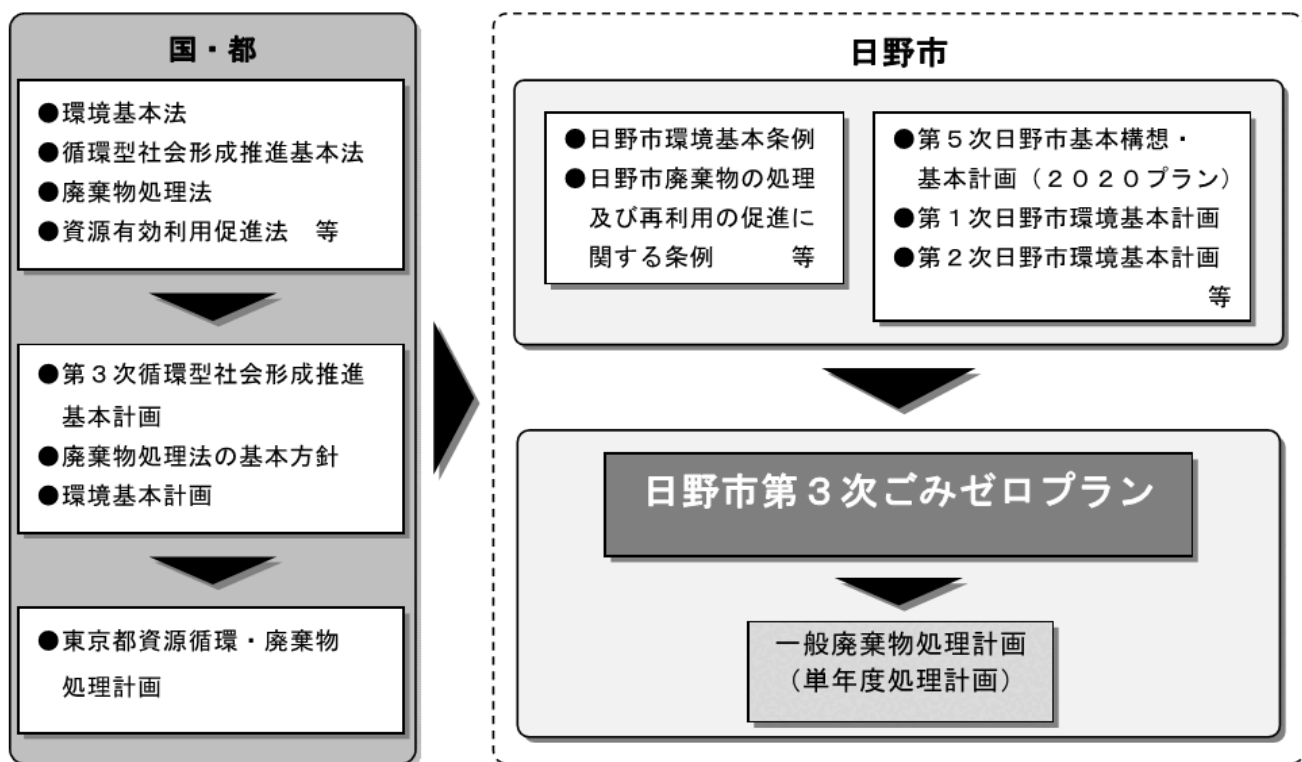
## 第4次日野市ごみゼロプランの策定について

## 1. 計画策定の背景

日野市ごみゼロプランは、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」第6条第1項に基づき策定する一般廃棄物処理基本計画で、本市の廃棄物処理行政における最上位計画と位置づけられています。

「第3次日野市ごみゼロプラン」(以下「前計画」という。)は、「ごみゼロ(焼却・埋め立てごみゼロ)により地球環境問題の解決及び循環型社会の実現に向けてみんなで取り組むまち・日野」を基本理念として、一般廃棄物(ごみ及び生活排水)の処理の推進を図るために、平成29(2017)年3月から10年間の計画として、平成29(2017)年3月に策定し、令和3(2021)年3月に改定を行いました。

「第4次日野市ごみゼロプラン」(以下「本計画」という。)は、前計画の経緯を踏まえ、市を取り巻く社会情勢の変化や関係法規制の改正等を反映し、策定するものです。



出典：第3次日野市ごみゼロプラン

図1 日野市ごみゼロプランの位置付け

## 2. 本計画の計画期間

計画期間：令和9(2027)年4月から令和19(2037)年3月(10年間)

※中間目標年次：令和13(2031)年度

### 3. 計画の構成（案）

本計画の構成（案）を図 2 に示します。前計画は「ごみ処理基本計画」と「生活排水処理基本計画」から構成されていました。

近年国内外で課題となっている食品ロスの削減に関し、国は令和元年(2019 年)10 月に食品ロスの削減の推進に関する法律（以下「食品ロス削減推進法」とします。）を施行し、市町村は食品ロス削減推進計画を策定することが求められています。よって、本市でも、「食品ロス削減推進計画」を作成し、本計画の中に内包することで他計画と一体的に取り組むこととします。

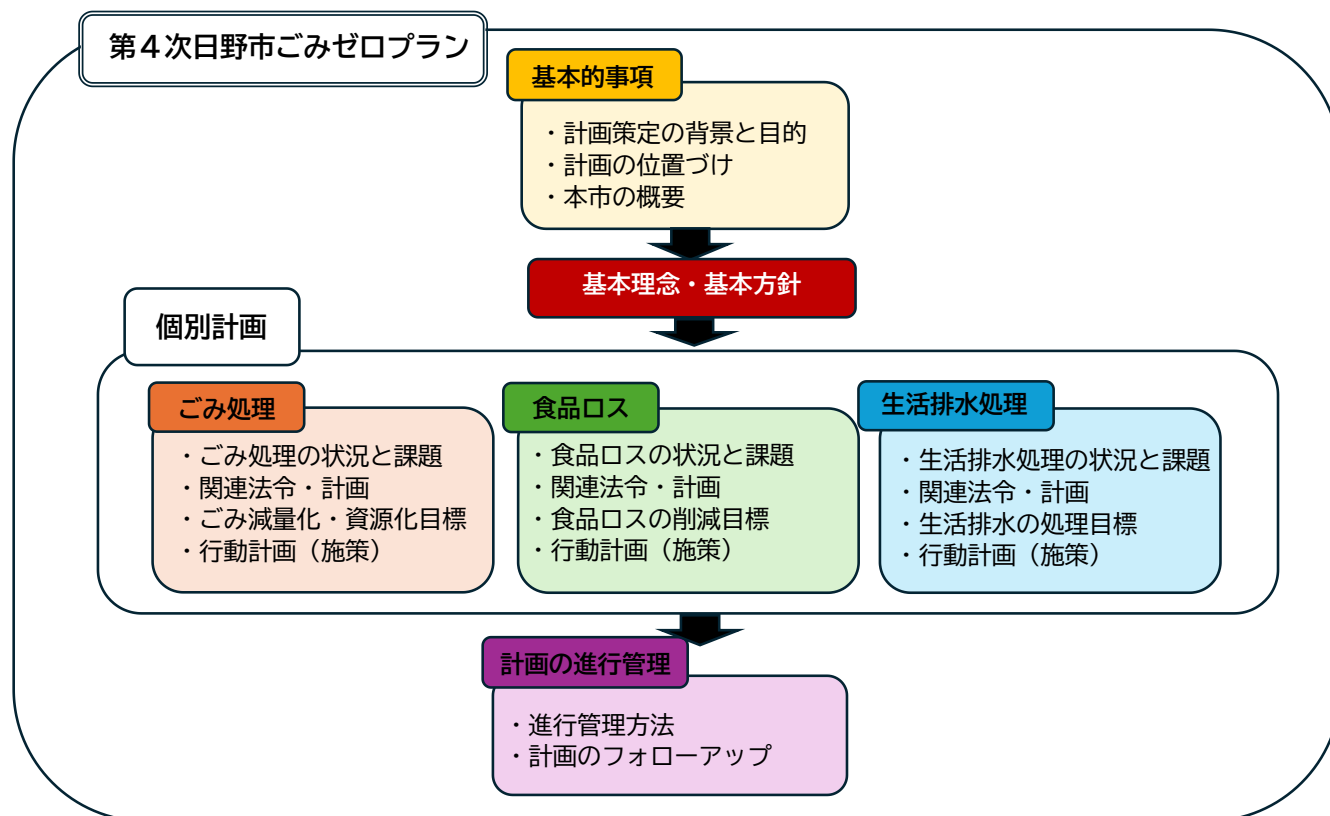


図 2 本計画の構成（案）

### 4. 計画改定におけるポイント

- 1) 廃棄物をめぐる今後の社会・経済情勢を反映（食品ロス削減、プラスチック資源循環、カーボンニュートラル、サーキュラー・エコノミー等）
- 2) 市民等の意見を反映（市民アンケート調査、協議会等）
- 3) 一般廃棄物の処理実績、発生見込み量及び前計画で定めた数値目標の達成状況から、新たな数値目標を設定
- 4) ごみ減量化に向けた優良事例の収集及び本市への導入可能性の検討

## 5. 本市のごみ処理の現状

表 1 ごみ処理の実績値と目標値の比較

項目	単位	実績	前計画の年度別目標値		全体目標
		R 6	R 3	R 8	
人口	人	188,244	—	—	—
ごみ総排出量※	t/年	39,702	—	—	—
1人1日あたりごみ総排出量	g/人・日	578	590	550	多摩地域で一番少ない排出量
リサイクル率	%	37.03	42.0	45.0	多摩地域でトップ5
焼却処理量	t/年	27,328	28,000	26,000	平成27年度比20%削減
最終処分量	t/年	0	0	0	埋め立て量ゼロ

※集団資源回収量を含める

出典：一般廃棄物処理実態調査結果（令和6年度、環境省）

- ・ 1人1日あたりごみ総排出量  
：3年連続（R4～R6）で人口10万人以上50万人未満の市町村で【全国1位】
- ・ リサイクル率：多摩地域内7位（30市町村）
- ・ 焼却処理量：平成27年度実績（33,138t）比で17.5%削減
- ・ 埋め立て量ゼロの目標：達成中

## 【参考】本市のごみ処理に関するこれまでの取組

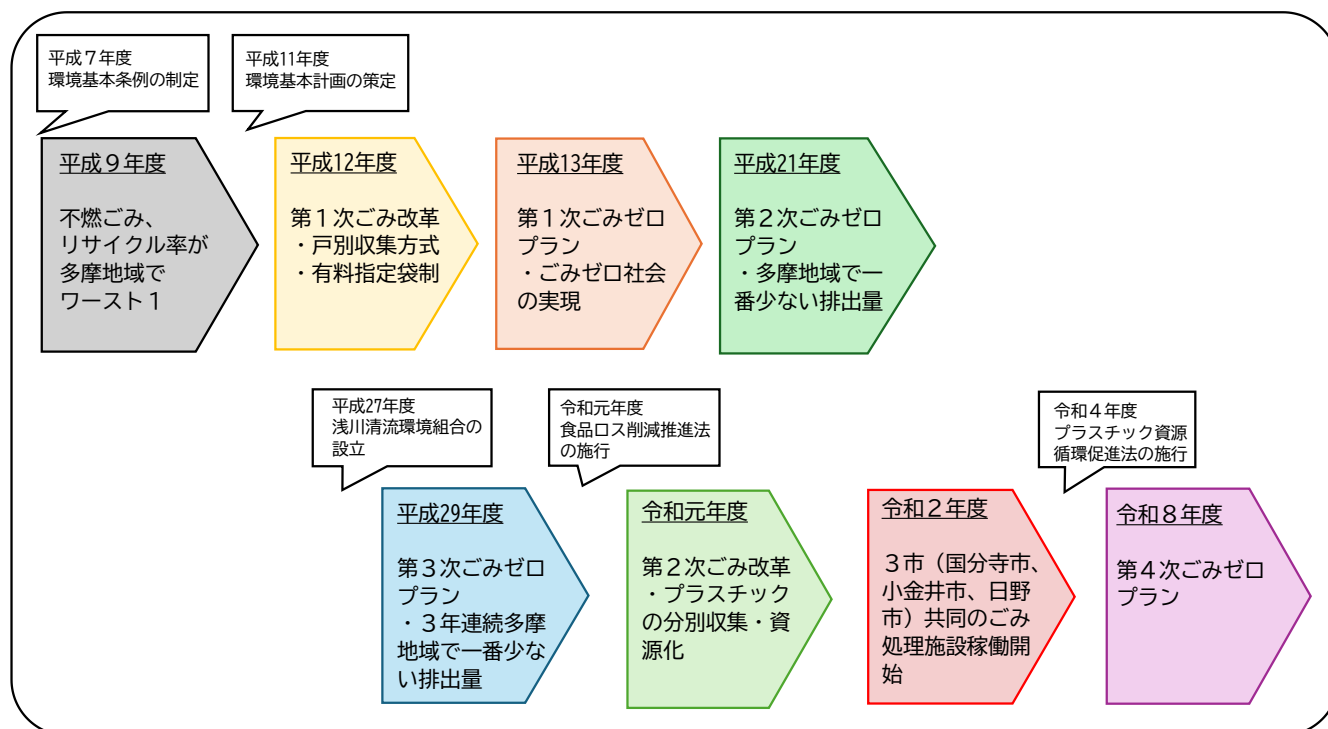



図 3 本市におけるこれまでの取組

## 6. 計画策定にあたって実施する事項

計画の策定にあたり、本市のごみ分別の状況や市民等の意見を把握し、計画に反映させるため、ごみ組成分析調査、アンケート調査及び協議会を行います。概要を表 2 に示します。

表 2 計画策定にあたって実施する事項の概要

項目	目的	概要・工夫点	実施時期 (予定)
ごみ組成分析調査	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ごみの分別状況の把握</li> <li>・食品ロス発生状況の把握</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生活系可燃ごみ 2 検体、生活系不燃ごみ 2 検体を 200kg ずつ収集し、調査・分析を行う。</li> <li>・協議会の中で調査現場の見学を行い、ごみ排出の状況を委員に共有する。</li> </ul>	R 8. 5 末
一般市民(2,000 人)を対象としたアンケート調査	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ごみに関する意識・ニーズの把握</li> <li>・前計画の検証</li> <li>・今後の優先施策の検討</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・回答者の負荷を考慮し、焦点を絞った最低限の設問数を設定。回答時間の目安を冒頭に記載。</li> <li>・郵送する調査票に QR コードを付して、オンライン上での回答も可とする。</li> </ul>	R 8. 6
協議会 (グループワークを含む) 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民意見等を反映した計画策定</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・協議会の中で 3 回程度グループワークを行う。</li> <li>・各グループにファシリテーターを配置し、以下の進行を想定。 <ol style="list-style-type: none"> <li>1) オリエンテーション(趣旨説明等)</li> <li>2) グループ・ディスカッション(仮) (6 名程度/グループを想定。各グループにコーディネータ 1 名を配置。)</li> <li>① アンケート調査の設問内容について</li> <li>② 日野市のごみ処理の課題について</li> <li>③ テーマごとの行動計画(施策)について</li> <li>3) 全体共有</li> <li>4) ふりかえり</li> </ol> </li> </ul> <p>※詳細は、「資料 2-1」参照</p>	① R 8. 5 末 ② R 8. 8 ③ R 8. 10

## 7. 計画策定スケジュール

計画策定スケジュール(案)を表 3 に示します

表 3 計画策定スケジュール (案)

